

## 算数オンライン塾 1月23日の問題 解説

---

(1) 2、3、5の最小公倍数は30です。

30までで考えると1、7、11、13、17、19、23、29で、次は31、37と続いています。

1の位が7は30までの間に2つあるので、

$999 \div 30 = 33 \cdots 9$ ということになるから、 $2 \times 33 + 1 = 67$ 個あります。

(答え) 67個

(2) 30と7の最小公倍数は210です。

210までの間に

1、7、11、13、17、19、23、29

31、37、41、43、47、49、53、59

61、67、71、73、77、79、83、89

91、97、101、103、107、109、113、119

121、127、131、133、137、139、143、149

151、157、161、163、167、169、173、179

181、187、191、193、197、199、203、209

と8個あります。

$999 \div 210 = 4 \cdots 159$ なので、159までに6個あるから  $8 \times 4 + 6 = 38$  個

(答え) 38個